

令和2年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	令和3年3月9日（火）広島合同庁舎4号館1階12号共用会議室
委員	伊藤 博文（委員長／税理士） 谷村 吉弘（委員長代理／客員研究員） 田邊 尚（弁護士） 川西 澄（大学院准教授） 上河内 正和（不動産鑑定士）

II 契約実施機関が締結する契約（建設工事等を除く。）に関する審議

契約実施機関：海上自衛隊

審議対象期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日	
審議対象件数	12,356件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	9件	(審議概要) 「抽出案件」 ・一般競争入札
一般競争	9件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【一般競争入札】（複数応札） 《オイルフェンス巻取機、電動式、A300m》 呉地方総監部 落札率：100% 応札者：1者</p> <p>【抽出理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2者が応札しているが、100%の落札率となっている。落札率が100%となった理由をご説明いただきたい。 ・商議を行う判断とはなにか。 ・商議すれば予定価格に近い金額になるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目の入札で2者が応札したが2者とも予定価格を上回り2回目の入札を実施し1者が辞退となり1者のみの応札となった。2回目の入札も予定価格を上回ったため商議を実施し100%の高落札率となった。なお、予定価格は、落札業者の類似契約実績の下見積額と応札額の落札比率を今回下見積に適用した。 ・2回目の入札を実施した業者に金額を下げる余地があるかどうかで判断する。 ・可能性はある。業者が応じてくれば契約となるし、応じない場合は契約不調となる。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商議する時は、例えば10項目くらいあればここがかけ離れているとかその所を詰めていくというイメージか。 ・市場価格方式とは、見積をとって1番低い価格を予定価格とするのか。 ・その見積金額で応札すれば、100%の落札率となるのか。 ・商議ではほぼ100%まで下げたら契約するイメージだが。 ・再度公告をしなかった理由は。 <p>【一般競争入札】（複数者応札） 《ボイラー設備等保守管理役務》 呉病院 落札率：99.91% 応札者：3者</p> <p>【一般競争入札】（複数者応札） 《ボイラー設備等保守管理役務》 呉地方総監部 落札率：100% 応札者：3者</p> <p>【抽出理由】 ・応札者は3者あったが、いずれも高落札率（それぞれ99.91%、100%）となっている。高落札率となった理由をご説明いただきたい。また、過去に同様なボイラー設備等保守管理業務・役務の契約があれば、その入札状況をご説明ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この案件は物品調達なので、全体的な金額をどれくらい下げられるかで判断する。 ・市況の調査は様々あるが、今回は見積以外に情報は得られなかった。 ・査定率を加味するが、査定率が同じならば100%となる。 ・近い金額にはなるが、一律100%とは限らない。この案件は偶然100%になった。 ・再度公告による入札に要する時間と台風被害からの早期復旧を考慮して再度公告を行わなかったと推察する。 ・呉病院については、仕様内容に変更があったため、過去の落札比率をもって下見積を査定している。 ・呉地方総監部については、前年度実績を予定価格としているため100%の落札率となったと考える。 ・過去も同じ業者が落札している。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落札率100%になったのは、落札業者の前年度実績を採用したからか。 ・3者が応札しているので競争にはなっているが、独占的に落札しているが。 ・過去も同じような状況か。 ・過去3年で前年度実績より契約額が下がっている年度もあるがなぜか。 ・予定価格の決め方で、下見積に一定の率を乗じてでたものを予定価格としているものと、下見積の一番安いものをそのまま予定価格としているものの違いは。 ・このような案件は、何年も継続すれば業者も一緒、仕様内容や人件費もあまり変わらないなら今後同様な落札率となるか。 <p>【一般競争入札】（複数者応札） 《ボイラー設備及び電気設備保守管理業務》</p> <p>小月航空基地隊 落札率：99.93% 応札者：2者</p> <p>【抽出理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応札者は2者あったが、高落札率（99.93%）となっている。高落札率となった理由をご説明いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。 ・会社の経営状況まで把握していないのでわからないが、下見積では他の業者とあまり差はないが、入札となると大幅な値引きとなる。 ・おそらく同じような状況と推測する。 ・仕様内容に若干の変更があったためである。 ・過去に同様の案件があるかないかによる。 ・ほぼ同様と考える。 ・1回目の入札では、わずかの差で予定価格に収まらなかった。2回目の入札を行った結果、ぎりぎり予定価格に収まり落札となった。高落札率となったのは偶然であると分析している。また、後日業者へ聞き取りを行ったところ、インターネットで前年度実績（予定価格）が公開されているのを確認しているとのことであったので、それを参考に入札したことも原因であると思われる。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去同様なボイラー設備等保守管理業務・役務の契約があれば、その入札状況をご説明いただきたい。 ・落札率が高くなる傾向にあるのは、よくない傾向と思われるがどのように考えているか。 ・それらの説明からすると、官民双方の探り合いの中で、高落札率が生じているように感じるが如何か。 ・事業内容に変更はないか。 <p>【一般競争入札】（1者応札） 《電気設備保守管理役務》 呉地方総監部 落札率：99.98% 応札者：1者</p> <p>【抽出理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応札で落札率が99.98%と高落札率となっている。高落札率となった理由および1者応札となった理由をご説明いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の入札状況は、毎回、複数の業者が参加している。また、毎回、同一業者が落札しているわけではなく、令和2年度のように別の業者が落札した実績もあるので、競争原理が働いていると判断している。 ・過去3年の落札率は、それ以前に比較して落札率が高くなっており、よくない傾向と考える。業者から見積書を提出してもらい、それを参考にしながら最新の市場価格を計算し、一般資料を使用して適正な予定価格を立てることで、できる限りの対策をとっている。 ・近年の結果からして、官側としてもそのように感じている。 ・平成29年度に消防設備点検が対象から外れたことはあったが、それ以外については仕様内容に変更はない。 ・初回3者応札した案件であり、予定価格に達せず再公告したものである。落札した業者の下見積りに前年度の落札率をかけて予定価格にした。しかし人件費の高騰や労使交渉での賃上げにより前年度水準は無理であった。再公告をして初回の最低金額を予定価格としたが若干値下げをしたものである。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2回目の入札に1者しか参加しなかった理由は。 <p>【一般競争入札】（1者応札） 《「呉システム通信隊」発動発電機N-PU-166-87 換装》</p> <p>呉地方総監部 落札率：100% 応札者：1者</p> <p>【抽出理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者応札で落札率が100%となっている。100%の落札率となった理由および1者応札となった理由をご説明いただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発電機は落札業者が作っているのか。 ・ 発電機の定価はわかっているのか。 ・ 発電機の価格だけでなく、工事の価格も含まれるのか。 ・ 初回の予定価格に経費を積んでいれば落札したか。 ・ 入札3回は1日ですか。 <p>【一般競争入札】（1者応札） 《第7ダビッド護岸整備》</p> <p>第1術科学校 落札率：100% 応札者：1者</p> <p>【抽出理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者応札で落札率が100%となっている。100%の落札率となった理由および1者応札となった理由をご説明いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の業者は経営的判断により2回目の応札を辞退したものと考ええる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初回入札では不調となり、再公告を行った案件である。初回の予定価格に経費の積みもれがあり再度予定価格の積みなおしを行った。その額が初回の応札額を上回ったことから初回の応札額を予定価格に設定したため100%の落札率になったものと考ええる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作っていない。別の業者である。 ・ 調査したが分からなかった。 ・ 含まれる。 ・ 可能性はある。 ・ 入札は2回行い商議で契約をした。商議については、その場で金額を提示させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初回入札が不調となり、再公告を行った案件である。初回入札以前に発生した西日本豪雨災害により使用部材の方塊ブロックが使用され値上がりしており、これらを

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・値上がりした価格も今回入札金額に影響しているのか。</p> <p>・説明資料では、全体の落札率は99.93%で100%ではない理由を説明してください。</p> <p>【一般競争入札】（1者応札） 《液体酸素（スターリング機関用）外1件》 呉地方総監部 落札率：100% 応札者：1者</p> <p>【抽出理由】</p> <p>・1者応札で落札率が100%となっている。100%の落札率となった理由および1者応札となった理由をご説明いただきたい。</p> <p>・契約金額と支払金額が違う理由を説明してください。</p> <p>・調達数量の根拠を説明してください。</p>	<p>踏まえ予定価格を再算定した結果、査定価格より初回入札時の最低価格が最安価となりこれを予定価格とした。1者応札となった理由としては、平成30年7月西日本豪雨災害以降、官公庁を中心に災害復興のための工事等が多く発注されたことや江田島という地域性も要因の1つと考える。</p> <p>・初回の入札金額が前回入札時の最低応札金額を超えており、業者が値上がりも必要と判断し入札したものとする。2回目の入札で前回入札時の最低応札価格と同額で入札し落札された。</p> <p>・落札率100%は基契約であり変更契約を含めると99.93%となる。</p> <p>・前年度の実績価格を予定価格として採用したため落札率100%になったと考える。酸素自体は他の業者も取り扱うが、潜水艦に積む物なので設備投資が必要であるため1者応札になったと考える。なお、令和2年度から関東の業者が応札しているので、1者応札の状態は解消されている。</p> <p>・単価契約で必要分発注して支払っているため、金額は異なる。</p> <p>・過去3年間の搭載数量の平均と減耗数量の平均から算出している。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【一般競争入札】（複数者応札） 《軽油2号（艦船用）免税》 呉地方総監部 落札率：99.98% 応札者：3者</p> <p>【抽出理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3者の応札者があったが、99.98%の高落札率となっている。落札率が高くなった理由をご説明いただきたい。また、過去に同様な契約があれば、その入札状況をご説明ください。 ・商議になっているが、2回目の入札に応札している2者と商議をするのか。それとも1者か。 ・概算契約となっている理由を説明してください。 ・海外で搭載できる業者は3者のみか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の下見積合計と応札額合計の落札比率を下見積に適用したため高落札率になったと考える。過去の入札状況は、年に何回か調達しており、この案件は3者が応札しているが、対応可能な業者が5者あり、そのうち2者から4者くらいが応札している。 ・最安価の応札業者から優先して商議する。 ・外国で搭載する燃料であるため、会社で決済する時に為替のレートがあり損益が出るので正当な損益を認めるため概算となっている。そのため支払金額が契約金額より増えることもあれば減ることもある。 ・これ以外にもあるが、地域によって現地サプライヤーとのコネクションがない業者もあるため全ての業者が応札するわけではない。

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0 件	(審議概要) なし。
談合情報	0 件	
点検結果疑義	0 件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし。	なし。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。	

3. 再苦情処理（再説明請求回数）				
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数	0 件	(備考)	
一般競争		0 件	なし。	
指名競争		0 件		
随意契約		0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件名	契約方式	内容等
	意見・質問	回答		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	なし。			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。			